

MULTILINGUAL ELECTRONIC NEWSLETTER

多言語メールマガジン

かごしま南の風便り

KAGOSHIMA SOUTHERN WIND TIDINGS

VOL. 202



01 国際交流員のコラム -鹿児島県国際交流員 金 周希(キム ジュヒ)-

○慶州～千年の古都～

02 知事のうごき

- <中東知事トップセールス>在サウジアラビア日本国大使館を訪問しました(10月12日)
- <中東知事トップセールス>サウジアラビア環境・水資源・農業省を訪問しました(10月12日)
- <中東知事トップセールス>日本産食品イベントに出席しました(10月12日)
- <中東知事トップセールス>在ドバイ日本国総領事公邸で県産品をPRするレセプションを開催しました(10月13日)
- 駐日ベトナム大使が訪問されました(10月15日)
- 在福岡インド総領事が訪問されました(10月15日)
- 国際サシバサミット 2025 in 宇検村奄美大島に参加しました(10月25日)

03 鹿児島の国際交流

- アジアん・鹿児島開催(10月19日)

04 かごしまのイベント情報

- 妙円寺詣り(10月25日, 26日)

●慶州～千年の古都～●

鹿児島県国際交流員 金 周希(韓国出身)

皆さんは韓国の観光地と言えばどこが思い浮かべますか？ソウル？プサン？チェジュ島？もちろん、これらも見るところや楽しめることがたくさんある素晴らしい観光地ですが、今日は、韓国人には有名ですが日本人にはまだそこまで知られていない観光地をご紹介してみたいと思います。

その場所は慶州（キョンジュ）です。

慶州は新羅時代の首都であり、約1000年間首都であったことから「千年の古都」という別称があります。日本の京都と似た雰囲気だと思っていただければわかりやすいと思います。韓国の全国（慶州以外）の小学生の修学旅行は高い確率で慶州になるくらい、韓国人から愛されている都市です。慶州は都市全体がユネスコ文化遺産に登録されているくらい歴史的価値のある都市です。

この慶州に行ったら必ず行くべき観光地をいくつか皆さんに紹介したいと思います。

1 大陵苑（テルンウォン）

慶州の大陵苑は新羅王朝の古墳が集まっている場所で、23基の多様な規模の古墳が集まっています。

最も有名な天馬塚（チョンマチョン）からは金冠や様々な遺物が出土し、新羅の優れた文化を見ることができます。ここでは新羅時代の壮大な歴史と古代の葬送文化を直接体験することができます。



▲大陵苑の全景

写真引用：韓国観光公社



◀天馬塚の入口

写真引用：韓国観光公社

2 東宮と月池（トンゲンとウォルジ）

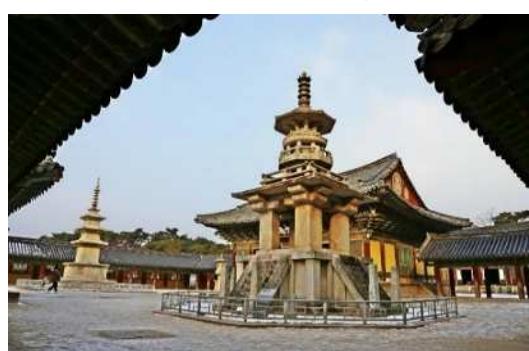
東宮と月池は新羅王室の王子たちが過ごしていた別宮です。ここは特に、夜ライトアップされる月池の美しさが有名です。池の周りに作られた庭園や古風な建物は新羅時代の宮殿文化をよく表しています。ここは昔の王室の贅沢と平和な生活を想像させる場所で、四季を通じて美しい景観を誇ります。歴史と自然が調和した名所としてたくさんの観光客に愛されています。



▲ライトアップされた東宮と月池

写真引用：慶州文化観光

3 佛国寺（ブルグクサ）、石窟庵（ソックラム）



◀佛国寺の多宝塔

写真引用：慶州文化観光

佛国寺は新羅時代の代表的な佛教寺院で、美しい建築美と繊細な佛教彫刻が見られるところです。1995年、佛国寺は石窟庵とともに韓国では初めて世界文化遺産に登録されました。

石窟庵は人工の洞窟の中にある仏像と彫刻が卓越した芸術的価値を持つ佛教遺跡です。両方とも新羅佛教文化の精髄を示しており、韓国佛教史の重要な遺産と評価されています。平和で厳かな雰囲気の中で静けさを感じられる場所です。

石窟庵本尊▶

写真引用：慶州文化観光



4 ファンリダンキル



◀ファンリダンキルの風景

写真引用：韓国観光公社

ファンリダンキルは慶州の若者たちと観光客が集まる賑やかな町です。韓国の伝統建築の韓屋（ハノク）が並んでいてかわいい雑貨店やおしゃれなカフェ、美味しい食べ物もたくさんあって食べ歩きも楽しめます！

日本と気候が似ている韓国は、秋が旅行に最適な季節で、紅葉もたくさん見ることができます。鹿児島から直行便で仁川空港まで約1時間半、そしてソウル駅から高速列車KTXに乗って1時間の合計約2時間半で行くことのできる慶州。次の韓国旅行は慶州に行ってみるのはいかがでしょうか？

02 知事のうごき

＜中東知事トップセールス＞在サウジアラビア日本国大使館を訪問しました（10月12日）

在サウジアラビア日本国大使館を表敬訪問し、森野泰成大使やジェトロ・リヤド事務所と、同国の経済状況や日本食の浸透状況、県産品輸出の可能性について意見交換を行いました。

同国では、厚い若年層が消費の中心的存在になりつつあり、健康志向が高まっているとのお話がありました。

また、日本食は高級料理として認知されていて、和牛や抹茶の関心は高いが、他国産との区別はついていない状況とのことでした。

万博やサッカーワールドカップの開催が予定され、更なる経済成長が期待される同国市場において、和牛や養殖ブリ、お茶などの高品質な本県産品が受け入れられる可能性を感じました。



▲森野泰成在サウジアラビア日本国大使との意見交換の様子

＜中東知事トップセールス＞サウジアラビア環境・水資源・農業省を訪問しました（10月12日）

サウジアラビアの環境・水資源・農業省で、同省のスレイマン アル＝ハティブ農業次官と面会し、本県との連携や県産品輸出の可能性などについて、意見交換を行いました。

農業次官からは、同国が、食料自給率の向上に取り組んでいるとのお話があったほか、本県の農産物や水産物の生産技術に高い関心を示されるとともに、他国産の和牛や抹茶が流通しているといったお話がありました。私からは、しっかりと認証された和牛や養殖ブリ、抹茶などの県産品を、サウジアラビアにお届けできるようにしたいとお話しました。

農林水産分野における日本との関係強化への同国の期待を感じる面会となりました。



▲スレイマン アル＝ハティブ農業次官と



▲環境・水資源・農林省での意見交換の様子

＜中東知事トップセールス＞日本産食品イベントに出席しました(10月12日)

サウジアラビア・リヤドの大型スーパー「ウィーマート」で開催された、全国商工会連合会(全国連)主催「Japan Delicious Food Festival 2025」のオープニングセレモニーに出席しました。

本イベントでは、ウィーマート孫社長、森野泰成大使、森義久全国連会長等とテープカットを行い、その後開催されたレセプションにおいて、私からは、本県は世界で人気の食材である和牛や養殖ブリ、お茶の日本一の産地である等のPRを行いました。

本イベントには、本県の和牛やお菓子などを含む、全国連が選んだ日本各地の产品が展出されており、特に本県和牛の試食には多くの現地の方が並ぶなど、大変な盛り上がりでした。



▲テープカットの様子



▲会場(和牛のライブパフォーマンス)の様子

＜中東知事トップセールス＞在ドバイ日本国総領事公邸で県産品をPRするレセプションを開催しました（10月13日）

今西淳在ドバイ日本国総領事にご協力いただき、総領事公邸において、お茶、ブリ、和牛を中心とした県産食材のPRレセプションを開催し、現地商社、レストランのバイヤーやシェフ、旅行事業者など、約80名の方々に出席いただきました。

レセプションでは、ブースを設けて、事業者の方にも参加いただき、有機抹茶のデモンストレーションを交えた試飲や、ブリ・シマアジなどを西洋料理にアレンジしての提供、シェフによる和牛ステーキの実演調理などを行いました。

今回のレセプションで出席者の方々に、本県産品に対し、高い興味・関心を示してください、改めて本県産品の高い可能性を感じました。



▲今西淳在ドバイ日本国総領事との記念撮影



▲PRレセプション会場の様子

●駐日ベトナム大使が訪問されました(10月15日)

ファム・クアン・ヒエウ駐日ベトナム大使が県庁を表敬訪問されました。

ヒエウ大使からは、人材や地域間の交流、ベトナム-鹿児島間の航空便の運航など、さまざまな面において、ベトナムと鹿児島の関係を深めていきたいとのお話がありました。

私は、これまでの本県とベトナムとの交流に対する支援へのお礼を申し上げ、引き続き両国、地域間の関係強化を図ってまいりたいとお話しました。



▲ファム・クアン・ヒエウ駐日ベトナム大使と



▲ベトナム大使館の皆様との記念撮影

●在福岡インド総領事が訪問されました(10月15日)

県が主催する「インド人材最新情報セミナー・個別連携相談会」においてご講演いただくため鹿児島を訪問された、ラムクマール在福岡インド総領事が県庁を表敬訪問されました。

ラムクマール総領事からは、インドには鹿児島のさまざまな分野で活躍できる人材が多いこと、また鹿児島におけるインド人材の受入れ拡大、鹿児島県産品のインドへの展開について支援したいとのお話がありました。

私は、県主催のイベントでご講演いただいたことへの謝意と、今後の本県とインドとの関係発展に向けた協力をお願いしました。また、国土の広いインド各州の特徴について理解を深めたいとお話させていただきました。



▲ラムクマール総領事との歓談の様子



▲ラムクマール総領事との記念撮影

●国際サシバサミット 2025 in 宇検村奄美大島に参加しました(10月25日)

宇検村で開催された「国際サシバサミット 2025 in 宇検村奄美大島」に参加しました。

海を越えて“渡り”をする希少な鳥である「サシバ」の保護を図ることを目的に、本県で初めて開催されたサミットは、国内外からの多数の研究者や関係自治体のほか、地元住民も多く参加しており、盛大なものでした。また、島内のさまざまなお店のブースも出店されており、奄美大島の魅力が詰まった空間を存分に楽しませていただきました。

本サミットを通して、サシバの保全に向けた国内外の連携がより深まるとともに、奄美大島における希少種の保護や生物多様性の保全が、より一層推進されることを期待しています。



▲サミットでの挨拶の様子



▲飛翔するサシバ



▲サミット会場の様子

03 鹿児島の国際交流

アジアん・鹿児島開催(10月19日)

今日、アジアは、世界の人口の約6割を占めるとともに経済的にも重要な地域となっており、21世紀はアジアの世紀とも言われている。このような中、鹿児島市にとって地理的・歴史的に関わりが深いアジアの国々・地域との交流は、今後ますます重要となっている。

かごしまアジア青少年芸術祭実行委員会は、青少年の国際性を育み、郷土の誇りと熱い志を持つ青少年の育成を図るとともに、市民の国際交流意識の高揚を図るため、2006年から、アジア各国・地域の青少年と鹿児島市の青少年が鹿児島市に一堂に集い、音楽を中心とする芸術を通して交流を深める「かごしまアジア青少年芸術祭」を開催している。

(鹿児島市国際交流センターHPより引用)

当日は、地域の民族舞踊、民族楽器、合唱、アジアをテーマにしたステージに加え、会場には、数多くの屋台や体験ブースが並びました。



▲会場の様子(各国のブースの様子)

04 かごしまの観光情報

妙円寺詣り(10月25日, 26日)

鹿児島市内から日置市伊集院町までの約20kmの道のりを歩いて参拝する伝統行事。敵中突破後苦闘の末、帰還を果たした義弘公をしのび、泰平の世に士気を鼓舞し、心身の鍛錬をするため、鹿児島城下の武士たちは、関ヶ原の合戦前夜の9月14日(旧暦)、往復40キロの道のりを鎧・兜に身を固め、夜を徹して義弘公の菩提寺である妙円寺に参拝し始めました。やがて、鹿児島3大行事として受け継がれました。現在は郷土芸能の奉納や武道大会、家族連れて賑わうウォークラリーなど、5万人を越す人出でにぎわいました。



●写真提供:公益財団法人 鹿児島県観光連盟

編集後記 (鹿児島県観光・文化スポーツ部 国際交流課)

鹿児島も朝晩はすっかり冷え込む日が多くなってきました。

垂水市の千本イチョウ園では夜間のライトアップも始まり、幻想的な光景を楽しむことができます



イチョウは「オスの木」と「メスの木」があり、メスの木はオレンジ色のぎんなんをつけ、秋になると独特の香りを放ちながら熟していきます。街路樹としては実が落ちて道が汚れることを避けるため、現在ではオスの木が選ばれて植えられることが多いですよ。 

年末年始も近づき、何かと慌ただしいシーズンになりますね。体調を崩しやすい時期でもありますので、皆様どうぞご自愛ください。次号もお楽しみに 

「かごしま南の風便り掲示板」では、次の鹿児島に関する話題を募集・掲載いたします！

☆鹿児島フォトギャラリー

鹿児島らしさを感じる写真や海外で見つけた鹿児島の写真を募集いたします。

写真の簡単な説明を添えてお送りください（例：克灰袋の山）。

その他、読者の皆様に発信したい情報もお待ちしております。

▲▽ 記事提供・お問い合わせ先 ▽▲

鹿児島県 観光・文化スポーツ部 国際交流課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10-1

電話番号: +81-99-286-2306

FAX 番号: +81-99-286-5522

電子メールアドレス

英 語: cir1@pref.kagoshima.lg.jp

中国語: cir2@pref.kagoshima.lg.jp

韓国語: cir3@pref.kagoshima.lg.jp

日本語: minami@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島県庁ホームページ

<http://www.pref.kagoshima.jp/>



鹿児島県観光サイト かごしまの旅

<https://www.kagoshima-kankou.com/>



※ 本記事の著作権は鹿児島県に属します。無断での再配信、転載及び掲示板等への掲載は禁止します。